

節電のお願いと当社の取組み状況について

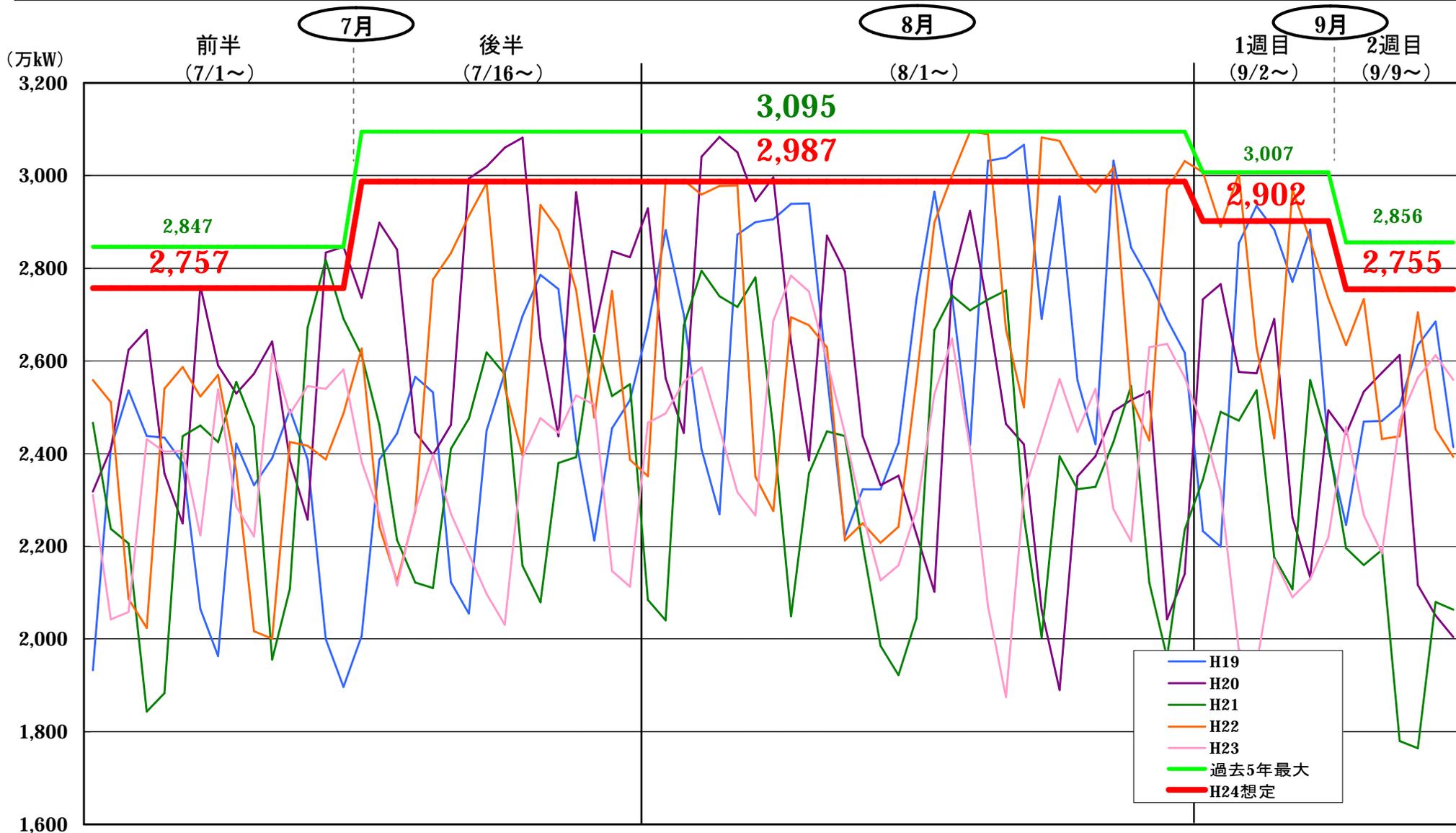
平成24年5月29日
関西電力株式会社

今夏の需給見通し

過去5年の最大電力実績と定着した節電等を織り込んだ想定需要

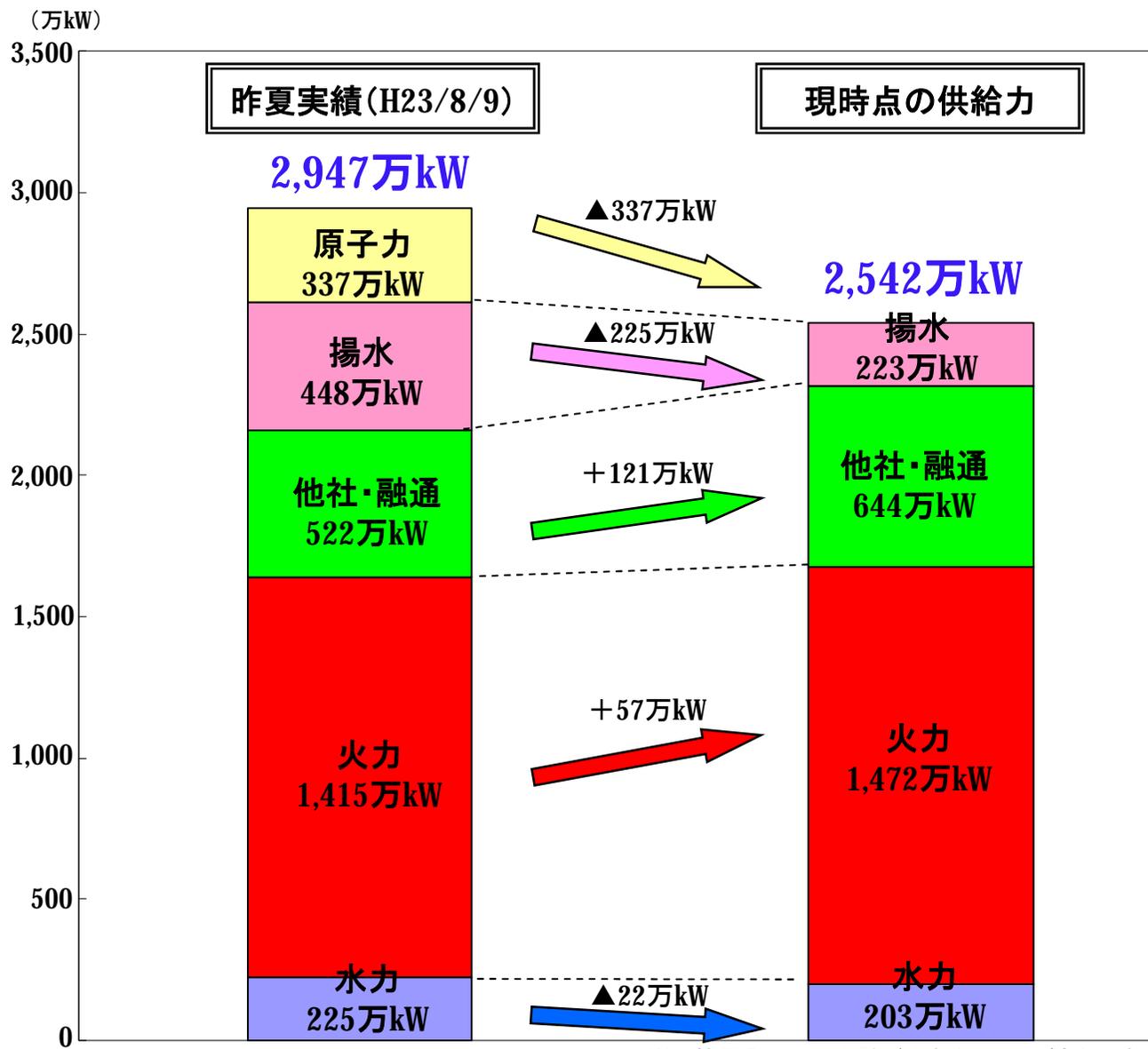
○平成22年度並の猛暑を想定し、定着した節電と随時調整契約を織り込んだ場合、今夏の需要は最大で2,987万kWになると想定しています。

○また、各月や各週の想定は、過去5年の最大電力実績と定着した節電・随時調整契約を織り込んで想定しています。



供給力確保の状況(8月)

○自社設備は全台稼働、他社・融通からの調達も最大限実施しますが、8月の供給力は2,542万kWの見通しです。



※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

供給力確保の取組み

■ 自社設備

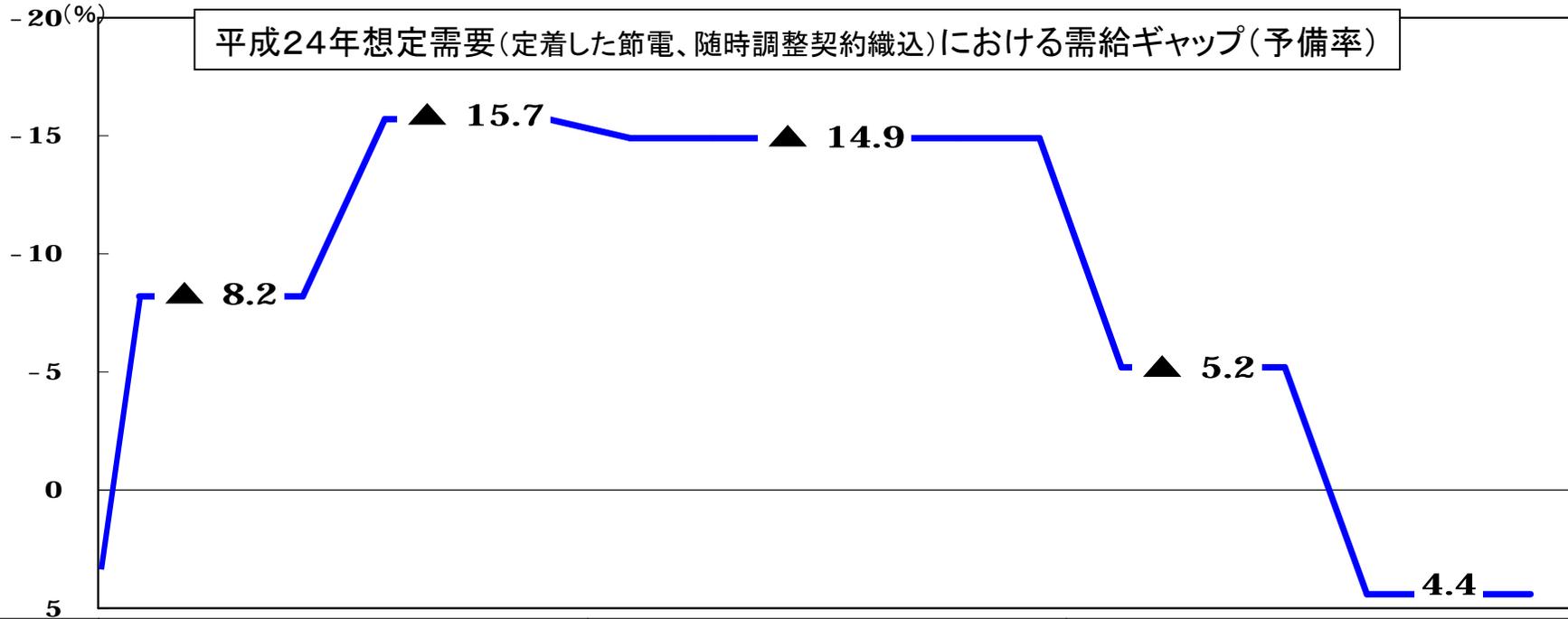
- ・自社設備は、火力・揚水・水力とも、定期検査や大規模な補修作業を延期して、全台稼働する計画としております。
- ・法定点検のある火力については、災害規定を活用し、法定期限外まで定期点検を延期します。
- ・また、定期点検時に実施してきた、消耗品などの取替えができないため、巡視や保守を強化するとともに、最低限必要な補修作業は、土日や夜間など、短期間で行います。
- ・火力については、長期計画停止機である海南2号機の再稼働や小型ガスタービンを姫路第一発電所に設置します。
- ・また、コンバインドサイクル機に吸気冷却装置を設けることで、夏場の出力低下の低減を図るとともに、昨夏同様、出力向上運転を行います。

■ 他社・融通

- ・他社からの受電については、自家発電をお持ちのお客さまに可能な限りの増出力をお願いしております。
- ・他電力会社からの融通については、夜間時間帯、他電力管内の自家発電余剰を含めて、現時点で可能な限りの送電をお願いしております。
- ・なお、IPPなどからの受電については、自社設備同様に全台稼働し、可能な限りの発電をお願いしております。

今夏の需給見通し

○今夏の需給見通しは、定着した節電を織り込んで、7月から9月1週目までマイナスの需給ギャップが発生し、7月後半から8月末までは▲15%程度となる見通しです。



(発電端)	7月		8月	9月	
	前半	後半		1週目	2週目
需要【随時調整契約加味後】(万kW)	2,757	2,987	2,987	2,902	2,755
供給力(万kW)	2,532	2,517	2,542	2,752	2,875
予備力(万kW)	▲225	▲470	▲445	▲150	120
予備率	▲8.2%	▲15.7%	▲14.9%	▲5.2%	4.4%
3%控除予備率	▲11.2%	▲18.7%	▲17.9%	▲8.2%	1.4%

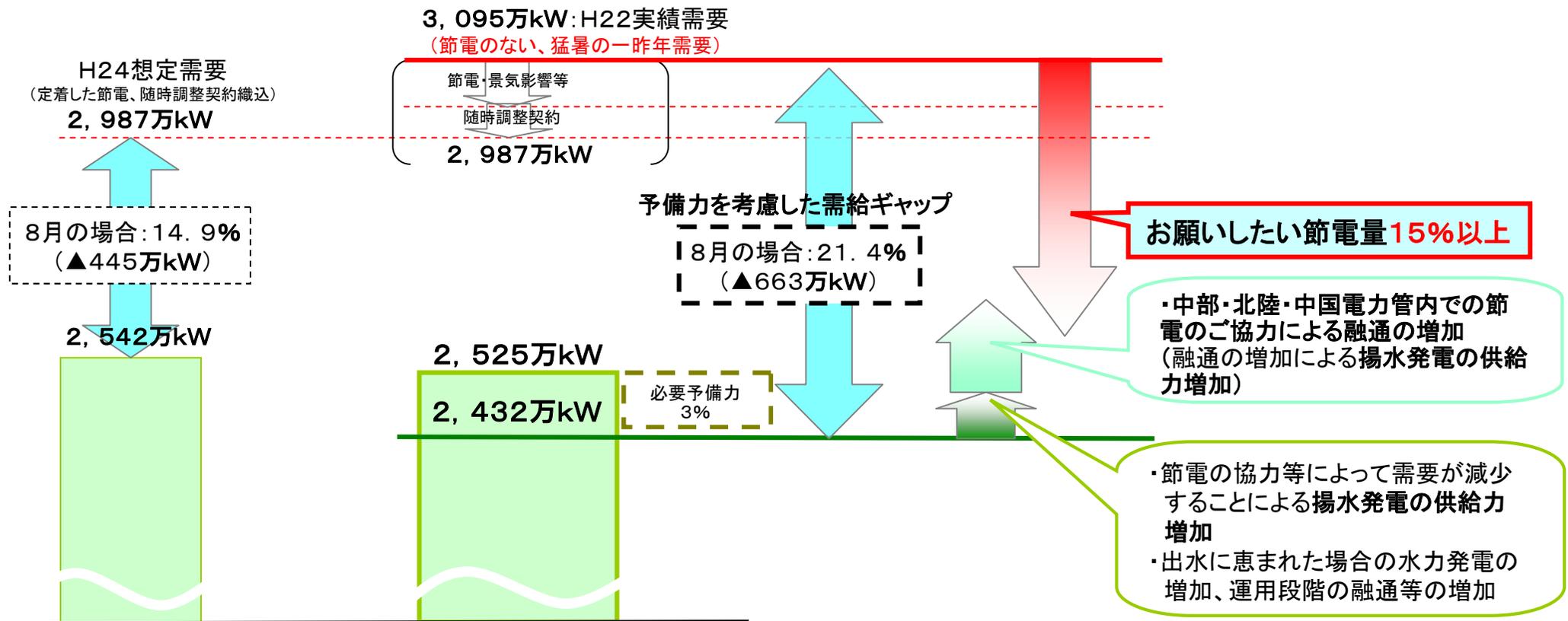
【参考:過去5年最大需要での需給見通し】

需要(万kW)	2,847	3,095	3,095	3,007	2,856
供給力(万kW)	2,513	2,502	2,525	2,714	2,875
予備力(万kW)	▲334	▲593	▲570	▲293	19
予備率	▲11.7%	▲19.2%	▲18.4%	▲9.8%	0.7%
3%控除予備率	▲14.7%	▲22.2%	▲21.4%	▲12.8%	▲2.3%

お客さまへの節電のお願い

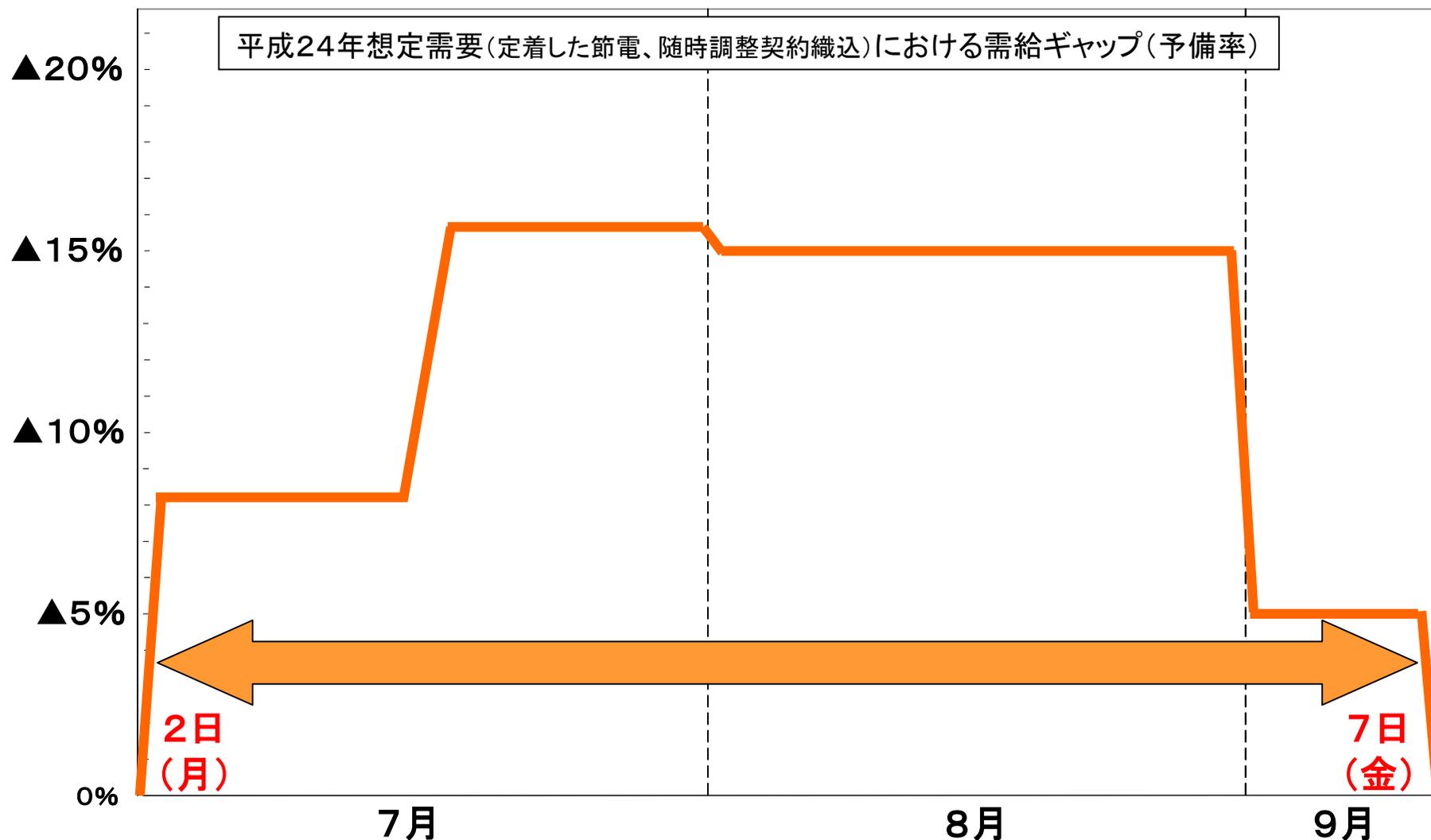
節電をお願いする量の考え方

- 想定需要は定着した節電等を織り込んでいることから、お客さまの節電前の実績である**平成22年夏季使用最大電力を基準**としております。
- 予備力を考慮した需給ギャップを解消する取組が必要ですが、節電等により需要が減少した場合の揚水供給力の増加や、運用段階での応援融通などによる供給力確保の効果等を考慮した水準に、国の調整による中部電力・北陸電力ならびに中国電力管内での節電のご協力による融通の増加を見込み、平成22年夏季使用最大電力から**15%以上**の節電をお願いしたいと考えております。



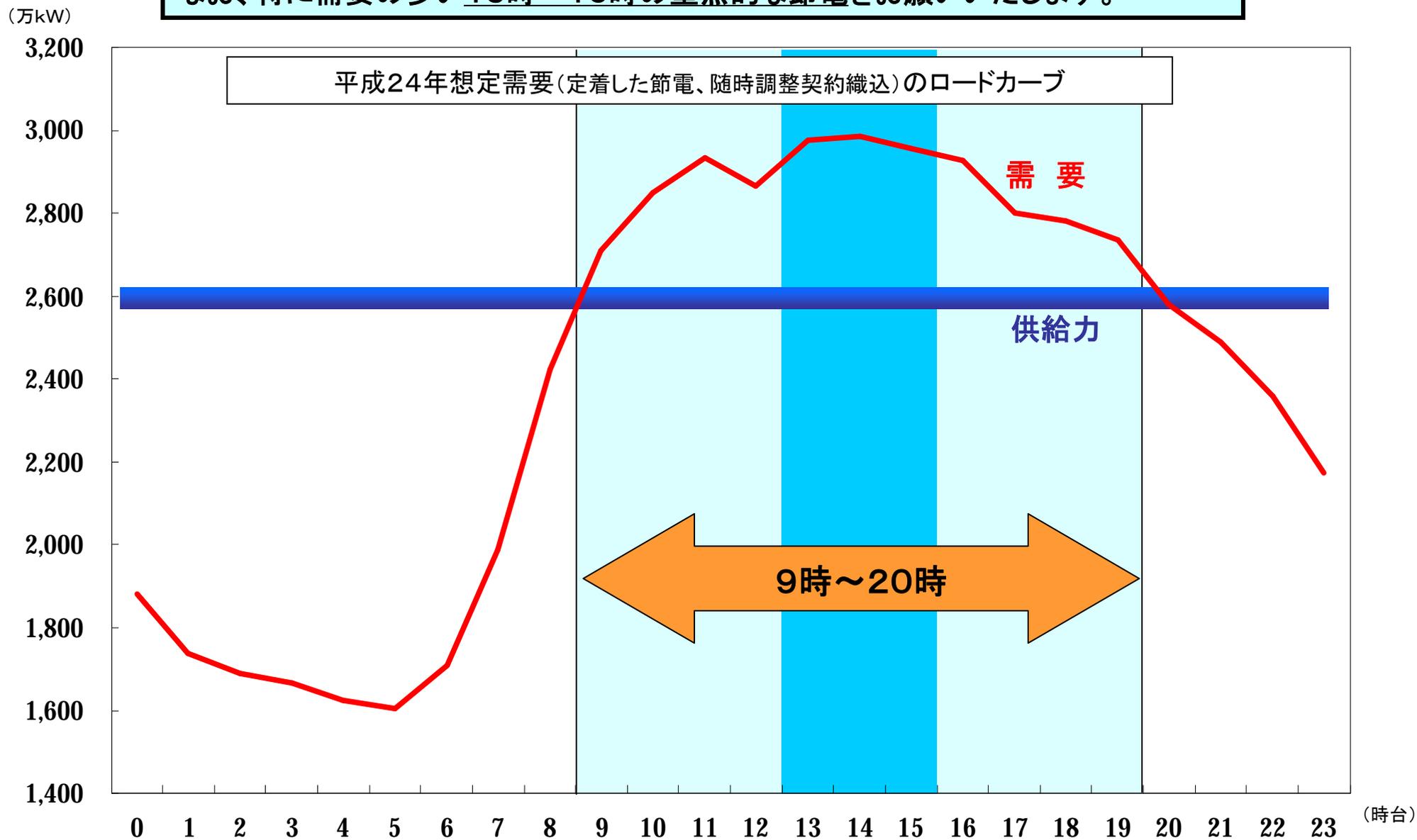
節電をお願いする期間の考え方

平成24年想定需要(定着した節電、随時調整契約織込)において需給ギャップ(予備率)がマイナスとなる**7月2日(月)から9月7日(金)まで**の期間の節電をお願いしたいと考えております。



節電をお願いする時間帯の考え方

9時～20時の時間帯での節電をお願いしたいと考えております。
なお、特に需要の多い**13時～16時**の重点的な節電をお願いいたします。



お客さまへの節電のご協力のお願い

7月2日～9月7日の平日 (8月13日～15日を除く)、**9時～20時**の間、**15%以上**(※)の

節電のご協力をお願いいたします。 ※平成22年夏季使用最大電力を基準としております。

すなわち、節電にあたっては、平成22年夏季における使用最大電力の値等を基準とし、この85%を超えない水準を目標としていただくようお願いいたします。

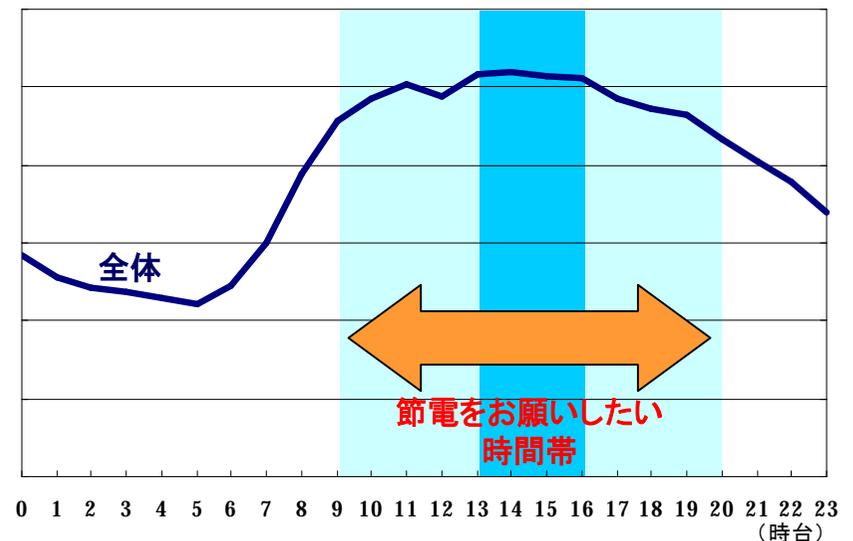
上記節電に支障の生じない範囲で、**早朝(7時～9時)**や**夜(20時～25時)**の時間帯においても、揚水発電の供給力を増加させる観点から、日常生活や経済活動に支障を生じない範囲での節電に、ご協力をお願いいたします。

また、ご家庭では健康に影響のない範囲で、病院や鉄道等ではライフライン機能等の維持に支障が生じない範囲で、節電にご協力をお願いいたします。

なお、気温の状況等により、さらに需給が逼迫すること考えられます。その際には、でんき予報や需給逼迫のお知らせメール等を通じて、一層の節電のお願いをさせていただく場合もございます。重ねてご理解・ご協力をお願いいたします。

□夏の平日の電気の使われ方

夏の電力需要は、平日の日中(14時頃)にピークが先鋭化します。
特に気温が高くなる13時～16時に需要が多くなります。



ご家庭のお客さまへのご協力のお願い

ご家庭のお客さまは平成22年夏季使用最大電力(kW)との比較が困難ですので、パンフレット等に掲載している「節電対策チェックシート」等を参考にしていただき、節電にご協力をお願いいたします。節電にあたっては「各種電気料金メニュー」や、「節電トライアル」、「はぴeみる電」(WEBでの「電気ご使用量のお知らせ照会サービス」)などもご活用いただきますようお願いいたします。

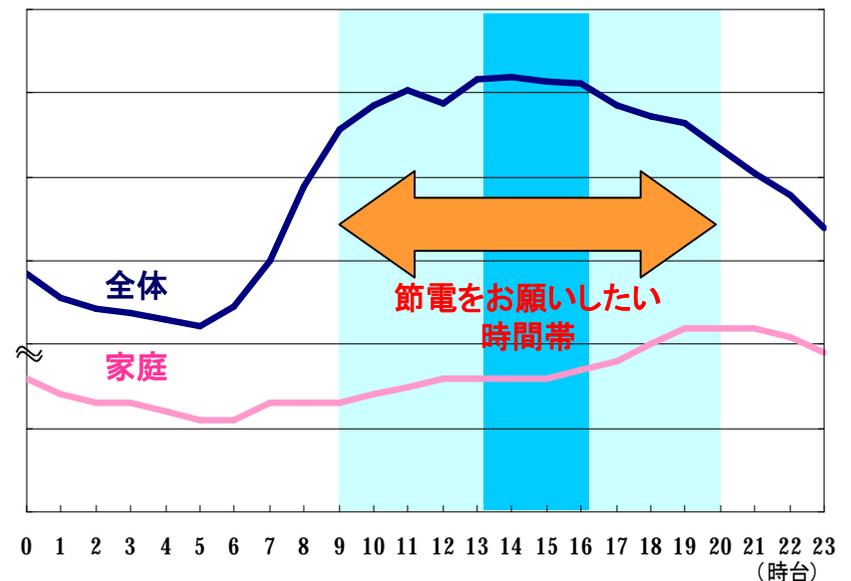
夏の平日の昼間(14時頃)は、ご家庭での消費電力のうちエアコン、冷蔵庫、テレビ、照明で全体の約8割を占めます。エアコンの高めの温度設定(室温28℃を目安)、冷蔵庫の控えめな温度設定(「強」から「中」に変更)など、これらの機器を中心に節電に取り組んでいただくと効果的です。また、他の時間帯へ電化製品のご使用をずらしていただくことも有効な節電対策になります。

なお、エアコンの控え過ぎによる熱中症などには十分にご注意いただき、節電にご協力ください。

▶ 全戸に配布するチラシ、CM、新聞広告などを通じてお願いしてまいります。

□ご家庭での夏の平日の電気の使われ方

ご家庭のお客さまの電力需要は、朝方より気温の上昇に合わせて緩やかに増えはじめ、ご家族が帰宅される夕方以降に最も大きくなります。



法人のお客さまへのご協力のお願い

[オフィスや商店など(業務用)のお客さま]

空調の抑制や不要な照明の消灯などを中心に節電にご協力をお願いいたします。
節電のご協力にあたっては、業種ごとにご用意したパンフレットや、需給調整に係る電気料金メニューなどをご活用いただきますようお願いいたします。

[工場など(産業用)のお客さま]

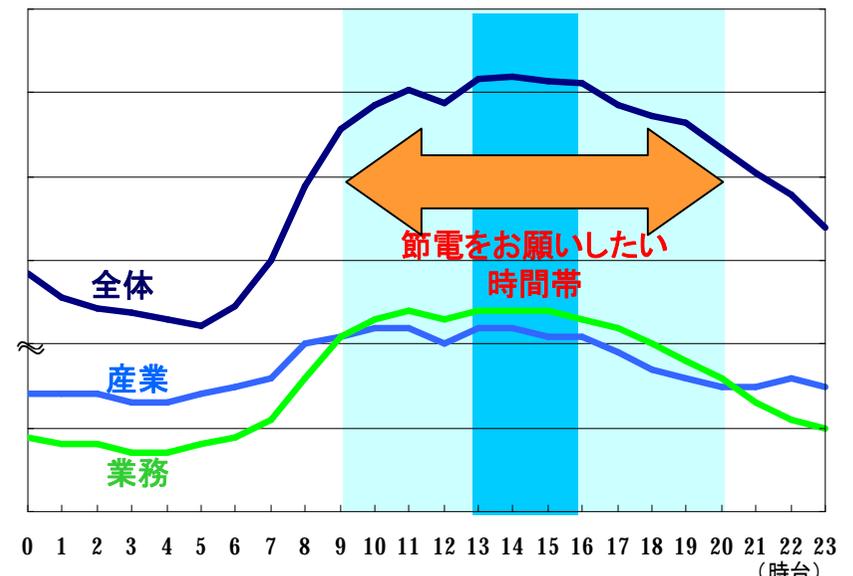
空調の抑制や不要な照明の消灯など一般設備の使用抑制、生産工程の節電対策や自家発電設備の活用、操業シフトなどにより、節電にご協力をお願いいたします。 節電のご協力にあたっては、**需給調整に係る電気料金メニュー**などをご活用いただきますようお願いいたします。

▶ お客さまへのご訪問やダイレクトメールでのご連絡を通じてお願いしてまいります。

□ 法人のお客さまの夏の平日の電気の使われ方

業務用および産業用のお客さまの電力需要は、事業活動が始まる朝から夕方にかけて、一定の高い水準で推移します。

(産業用のお客さまでは、お昼休みの12時頃には電力需要は一旦下がります。)



今後の取組みについて

供給面での取組みとリスクについて

○改善に向けた取組み

実施内容		検討状況
融通	さらなる融通受電	他電力において需給状況に余力が生じればさらなる受電をお願い (他の供給力不足のある電力への配慮も必要)
	他電力管内の節電による支援	他電力管内において節電の支援による余力が生じれば、さらなる受電をお願い (他の供給力不足のある電力への配慮も必要)
他社・自家発	さらなる調達努力	新電力への管内節電のご理解と余力供給の要請など、他社・自家発からの追加供給力確保に全力で努力
卸電力取引所	掲示板の活用	全国の取引会員からの供給力募集
	先渡市場の活用	夏季商品(月間・週間)の積極的な調達
	スポット市場の活用	直前までの積極的な調達
	新市場の活用	設置検討中の分散型・グリーン売電市場(仮称)を活用した、管外自家発の余力調達
再エネ	太陽光	天候が良好であれば供給力増加の可能性
	水力	出水状況が良好であれば供給力増加の可能性

○減少のリスク

内容	
電源トラブル	電源の計画外停止
融通の減少	他社の電源の計画外停止や、気温が想定を上回ることが明らかになった場合は、さらなる融通受電が期待できなくなることや、計画している融通が減少する可能性

需要面での取組みについて

実施内容

昨夏昨冬の節電対策の継続・強化		最大限の供給力確保に加えて、①期間中通じての節電のお願い、②需給逼迫時におけるより踏み込んだお願いを実施。	⇒ 12
新たな取組み	ご家庭のお客さま	今年(7~9月分)の電気ご使用量の合計を、昨年(7~9月分)の合計と比較し、削減率に応じて「QUOカード」進呈。 【応募対象】 従A/従B/時間帯別電灯/季時別電灯PS/季節別時間帯別電灯/低圧電力/低圧総合利用 【応募期間】 平成24年6月1日(金)~平成24年7月31日(火) ※「はぴeみる電」加入で+500円 【達成条件と賞品】 ●5%以上10%未満⇒500円分 ●10%以上15%未満⇒1,000円分 ●15%以上⇒1,500円	⇒ 参考1
	新たな料金メニューの新設(季時別電灯PS)	【実施日】 平成24年7月1日 【適用対象】 供給約款の従量電灯の適用範囲に該当し、ピーク時間以外の時間帯へ負荷移行が可能なお客さま 【季節区分】 夏季:7月1日~9月30日、他季:10月1日~翌年6月30日 ピーク時間:夏季平日13時~16時、オフピーク時間:ピーク時間、夜間時間以外、夜間時間:毎日23時~翌7時	⇒ 参考2
	法人のお客さま	・休日特約の拡充(10日以上休日を設定された場合に割引単価の引上げ) ・ピーク時間調整特約の拡充 (調整未達補償金の設定と合わせた割引単価引き上げ、日・時間単位の負荷調整を加入条件として設定) ・通告調整特約の拡充(契約調整電力の下限値引き下げ、前週通告プランの設定、実施割引の拡大)	⇒ 参考3
	BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制 (対象) 高圧(契約電力500kW未満) のお客さま	当社の負荷調整要請に基づき、ビル、工場等の空調・照明設備等の負荷調整・制御を行うエネルギー管理システム(BEMS)を導入されたお客さまに対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施いただけるアグリゲーターを募集 【募集時期】平成24年5月28日~平成24年6月15日(当社HPから募集) 【実施期間】平成24年7月2日~平成24年9月7日 【負荷調整の依頼タイミング】需給逼迫が予想される日の前日の午後 【負荷調整時間帯】平日の午前9時~午後8時までの間で、当社が要請する時間帯(※午後1時~午後4時を必ず含む) 【負荷調整の対象となるお客さま】当社管内の高圧(契約電力500kW未満)のお客さま	⇒ 参考4
新たな取組み	法人のお客さま	【適用期間】平成24年7月2日~平成24年9月7日 【対象】当社管内の特高・高圧(契約電力500kW以上)のお客さま 【募集のタイミング】需給逼迫が予想される日の前週の金曜日から前日までの間で、追加的な負荷調整が必要と想定される日毎に入札を実施。 【応札方法】お客さまから、事前登録のお申し込みをいただき、ID・パスワードを登録。 【実績調整電力の算定式】実績調整電力 = 前週の同じ曜日の該当調整時間の平均電力 - 調整時間の平均電力 【調整割引額】実績調整電力(kW) × 割引単価(円/kW) × 調整時間(h)	⇒ 参考5

節電対策の継続、強化について

○主な取組み

		昨夏・昨冬からの継続取組み			今夏の新たな取組み
		対象数	アプローチ方法	主な取組み	主な追加施策
法人	500kW以上	約7千	訪問	<ul style="list-style-type: none"> 需給調整メニューの積極的加入促進 空調抑制、照明消灯等のお願い 等 	<ul style="list-style-type: none"> 計画調整特約等の拡充 ネガワットプランの実施
	500kW未満	約11万	電話・DM 訪問 (一部業種別)	<ul style="list-style-type: none"> デマンドカットプランの積極的加入促進 空調抑制、照明消灯等のお願い 等 	<ul style="list-style-type: none"> BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制
家庭		約800万	マス媒体 ポスター・チラシ コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体を通じた節電のお願い 全戸チラシ、検針票などを通じたPR 街頭におけるPR活動 垂れ幕による節電PR 「はぴeみる電」の加入促進 等 	<ul style="list-style-type: none"> 節電インセンティブ施策 (節電トライアル) 新たな料金メニューの新設 (季特別電灯PS)

(※「500kW以上」: 特高、高圧(契約電力500kW以上)のお客さま、「500kW未満」: 高圧(契約電力500kW未満)のお客さま)

○昨夏の節電効果

		夏季最大3日平均	節電要請期間平均	
合計		約 ▲ 190 万KW	約 ▲ 160 万KW	約 ▲ 5 %
分野別	500kW以上	約 ▲ 100 万KW	約 ▲ 85 万KW	約 ▲ 7 %
	500kW未満	約 ▲ 60 万KW	約 ▲ 50 万KW	約 ▲ 5 %
	家庭	約 ▲ 30 万KW	約 ▲ 25 万KW	約 ▲ 3 %

※分野別については、限られたサンプルデータを元に、統計値などを用いて推計した値です。

○今後の取組み

- 法人(500kW以上)のお客さまは、引き続き全数訪問のうえ節電の実効性を高める取組みを実施。
 - 法人(500kW未満)のお客さまは対象数が多く、電話やDMによるお願いを実施。一部業種については、個別訪問のうえ業種毎の節電の取組みを実施。
 - ご家庭のお客さまは、引き続き実効性を高める取組みを実施。
- 対象数が多い法人(500kW未満)、家庭に対して節電の意識をより高め、実効性を上げる取組みが必要

お客さまへの節電方法のご紹介

(1) お客さまの業種ごとの節電方法

(お客さま向けパンフレットから抜粋)



参考6

業種	効果的な節電項目		節電効果	業種	効果的な節電項目		節電効果
一般業務用	照明	室内の照明を半分程度間引き (例: 800ルクス→400ルクス)	13%	卸・小売店	照明	店舗の照明を半分程度間引き (例: 800ルクス→400ルクス)	13%
	空調	室内温度 28℃設定	4%		空調	室内温度 28℃設定	4%
	OA機器	不使用機器のコンセントを抜く	3%		冷凍冷蔵	冷凍・冷凍ショーケースの消灯 等	1%
ホテル・旅館	照明	客室以外の照明を半分程度間引き (例: 800ルクス→400ルクス)	13%	食品スーパー	照明	店舗の照明を半分程度間引き (例: 800ルクス→400ルクス)	11%
	空調	不使用の共用エリアの空調停止	1%		空調	室内温度 28℃設定	1%
	空調	ロビー等で28℃設定	1%		冷凍冷蔵	台数の限定、庫内の霜取り等を実施	5%
病院・福祉	照明	事務室の照明を半分程度間引き (例: 800ルクス→400ルクス)	4%	製造業	不使用エリアの消灯、空調を28℃設定、自家発電設備の活用		
	照明	不使用エリアの消灯の徹底	4%		待機状態にある電気設備の電源OFF、LED照明への交換 等		
	空調	ブラインド、遮熱フィルム、ひさし等の活用	1%	学校	照明	教室、職員室の間引き	16%
				照明	体育館の照明の間引き	2%	

(注) 1. 節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
 2. 一定の条件での元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

(2) ご家庭における節電方法

・エアコンの設定を28℃ (設定温度を2℃上げた場合)	⇒	10%削減	・冷蔵庫の設定を「強」から「弱」に切替え、開閉時間を最小化	⇒	2%削減
・すだれ等を活用して日差しを和らげる	⇒	10%削減	・テレビを省エネモードに設定し画面の照度を下げる	⇒	2%削減

(注) 1. 節電効果の記載値は、在宅家庭の最大使用時(約1,200W)に対する削減率の目安です。(資源エネルギー庁推計)
 2. 合計の削減率は目安であり、実際と異なる場合がございます。 <参考> 経済産業省「夏季の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成24年5月)

夏の節電のお願い 主なPR・施策等スケジュール

		5月	6月	7月	8月	9月
全体の動き		▼5/19 節電公表		▼7/2	夏の節電期間	▼9/7
マスPR	テレビCM			▼6/下旬～		
	新聞広告		▼5/23 出稿 (節電のお願い)	▼7/初旬出稿	※以降、適宜出稿	
	ホームページ	▼5/19～今夏の需給見通し・節電方法 掲載 公表(需給状況のお知らせ)		▼6/下旬～でんき予報 開始		
個別PR	パンフレット		▼5/末～適宜配布開始			
	ポスター／店頭チラシ		▼5/末～掲示・配布			
	全戸チラシ／検針票 [裏面利用] (約1200万枚/月)		▼6/1～全戸チラシ 配布	▼7/2～検針票配布	▼8/1～検針票配布	
	垂幕掲示(弊社事業所)			▼7/初～設置		
	街頭PR 他			▼7/初～		
法人・自治体	お客さま(500kW以上) 訪問 (約7000軒)		▼5/21～訪問 (計画調整特約ご加入のお願い ネガワットプランご登録のお願い)	※以降、随時訪問		
	お客さま(500kW未満)DM (約11万軒)		▼5/末 送付	※以降、随時送付		
	自治体訪問 (全自治体)		▼5/21～訪問	※以降、随時訪問		
施策		5月	6月	7月	8月	9月
節電トライアル		5/19プラス▼	▼6/1～受付開始		▼7/31	
季特別電灯PS		5/21 届出・プラス▼		▼7/1～新料金適用		
BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制		5/28プラス▼	募集期間(5/28～6/15)			
節電お問い合わせ専用ダイヤル		▼5/19～設置				

自治体の皆さまには、下記のとおり、ご協力をお願い申し上げているところです。

※自治体の皆さまへのお願い文書

1. 期間を通じた節電周知

ご協力を賜りたい事項

- ・自治体広報誌への掲載
- ・自治会回覧板への資料折り込み
- ・弊社ポスター（チラシ）の自治体施設への掲示

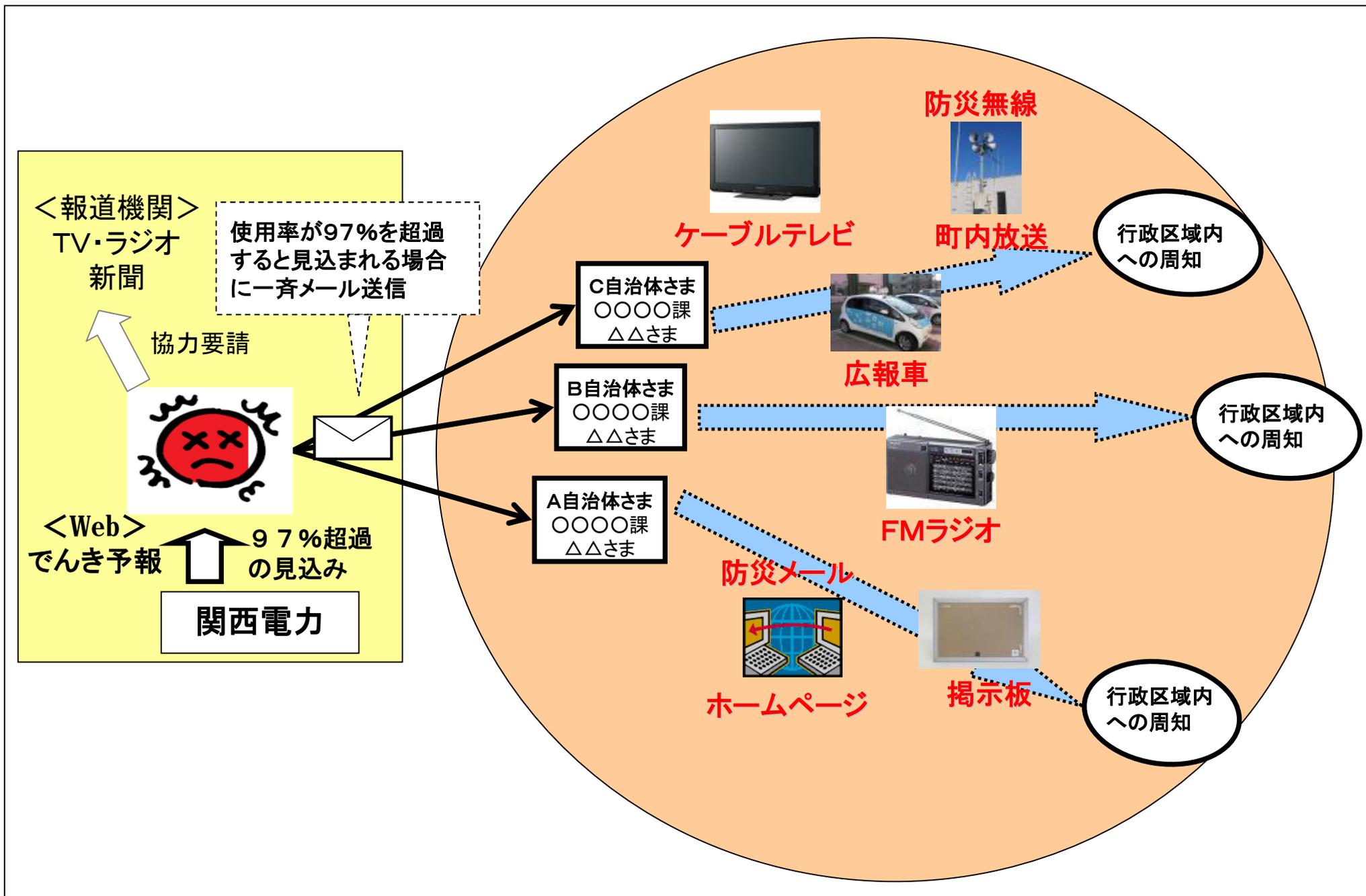
これら以外にも、ホームページへの掲載等にて、ご協力いただけましたら幸いです。

2. 需給逼迫時の緊急連絡

昨冬にご準備いただいた主な事例を、参考1にとりまとめさせていただきました。
今夏におきましても、同様にご準備賜りますようお願い申し上げます。
なお、期間中に需給が逼迫した際には、自治体さま向けに一斉メールにてご連絡させていただきます。

3. その他（需給逼迫時の一斉メールについて）

自治体さま向けの需給逼迫時の一斉メールにつきまして、新規登録および解除は、お手続きができるよう準備を進めてまいります。準備が整い次第、別途、ご案内をさせていただきます。



節電インセンティブ施策 (PRチラシ)

参考1

<表面>

<裏面>

お申込みが
必要です



応募期間：2012年6月1日(金)～7月31日(火)

節電&「はぴeみる電」新規登録で 最大2,000円分のQUOカード!!

2012年7月分～9月分の電気ご使用量の合計(kWh)を、2011年7月分～9月分の合計(kWh)と比較し、削減率に応じてQUOカードを進呈いたします。

Aコース

- 15%以上削減 ➔ 1,500円分
- 10%以上15%未満削減 ➔ 1,000円分
- 5%以上10%未満削減 ➔ 500円分

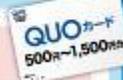
削減率が5%に満たない場合でも、**抽選**でQUOカード500円分を進呈いたします。

Bコース

ご自宅等により、前年同月分の電気ご使用量と比較ができない場合は、**抽選**でQUOカード500円分を進呈いたします。

ぜひお申込みいただき、節電にご協力くださいようお願い申し上げます。
節電にあたっては、健康に影響のない範囲でご協力をお願いします。

※1. Aコース・Bコースそれぞれ1,000名様 ※2. 2011年6月以降にお客さま番号の変更を行うご契約内容の変更があった場合等



さらに

「はぴeみる電」新規登録で+500円分のQUOカード!!

7月31日(火)までに「節電トライアル」および「はぴeみる電」へのお申込みをされ、ご登録を完了されたお客さまには、さらにQUOカード500円分を進呈いたします。

※同時に「はぴeみる電」に登録されているお客さまは対象外となります。

「電気ご使用量のお知らせ」の印刷・ダウンロードも可能!

はぴeみる電 に登録すると…

「電気ご使用量のお知らせ」が、紙からWEBへ!
ペーパーレス化で環境にやさしく、もっと便利になります。

メリット 1 節電トライアルの達成状況を確認できる!

メリット 2 前月や前年同月のご使用実績と比較できる!

メリット 3 節電の取組み効果を確認できる!

メリット 4 いつでもどこでも電気代をチェックできる!

メリット 5 よく似たご家庭の光熱費と比較できる!



※ご登録後は、紙による「電気ご使用量のお知らせ」等はお届けいたしません。なお、お申込用紙等を検針時にお届けしている場合は、郵送でのお届けに変更させていただきます。



「節電トライアル」の流れ



※QUOカードは、10月末までに電気のご使用場所またはご請求書送付先にお送りする予定です。
※抽選の結果発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募要項

応募対象：以下のご家庭向けの契約種別にて、関西電力とご契約いただいているお客さま
(対象契約種別) 従量電灯A・従量電灯B・時間帯別電灯・季節別電灯PS・はぴeタイム(はぴeプラン)・低圧電力・低圧総合利用契約

応募期間：2012年6月1日(金)～7月31日(火)

達成条件：2012年7月分～9月分の電気ご使用量の合計(kWh)を、2011年7月分～9月分の合計(kWh)と比較し、削減率に応じてQUOカードを進呈
および
達成賞品 (Aコース)
(5%以上10%未満:500円分 / 10%以上15%未満:1,000円分 / 15%以上:1,500円分)
※2012年9月末時点で、お申込み時のお客さま番号にてご契約が継続しているお客さまが対象となります。
※支払期限日(検針日の翌日から50日目)以内に電気料金をお支払いいただいているお客さまに限りです。

詳しい条件につきましては、お申込み時に「ご利用規約」にてご確認ください。

※7月分の電気ご使用量は、6月のご使用分が含まれますので、お電報のお取組みの際はご注意ください。なお、検針日はお客さまことにより異なります。
※検針期間や前年同月分の電気ご使用量は、毎月お届けしている「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)や「はぴeみる電」にてご確認ください。

お申込みはこちら

パソコン スマートフォン <http://www.kepco.co.jp/trial/>

携帯電話 <http://kanden.jp/trial/>






お申込みにはお客さま番号等、電気のご契約内容を入力していただく必要があります。
「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)等をご用意ください。

※応募期間中に「はぴeみる電」に登録されているお客さまおよび「はぴeみる電」以外のご契約内容のお客さまは、インターネットでのお申込みができません。下記の電話番号までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

お電話お問い合わせ専用ダイヤル(通話料無料) **0120-911-777**

受付時間 平日(月～金) 9:00～20:00
土日祝 9:00～17:30

※お電話がつながらない場合は、紙によるお問い合わせも可能です。※一部の伊勢国からは、ご利用いただけない場合がございます。
※お問い合わせの際は、番号をよくお聞きください。おかけ間違いのないようお願いします。





季別電灯PSの概要

季別電灯PSは、夏のピーク時に対応する「ピーク時間」と、それ以外の「オフピーク時間」「夜間時間」に時間帯を区分しており、「ピーク時間」から「オフピーク時間」および「夜間時間」へ電気のご使用をシフトしていただくことで、電気料金を削減できる料金メニューです。

◆対象となるお客さま

供給約款の従量電灯の適用範囲※に該当し、ピーク時間以外の時間帯へ 負荷移行が可能なお客さま。

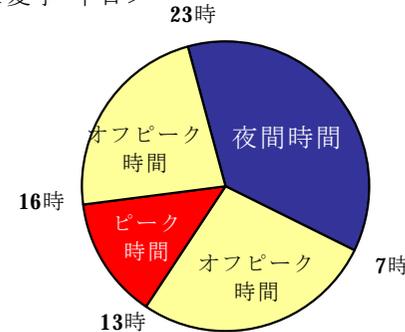
※従量電灯の適用範囲：電灯または小型機器を使用する需要であり、原則として、最大需要容量が50キロボルトアンペア未満である需要。

ただし、低圧電力とあわせて契約する場合は、原則として、最大需要容量または契約容量と契約電力との合計が50キロワット未満である需要。

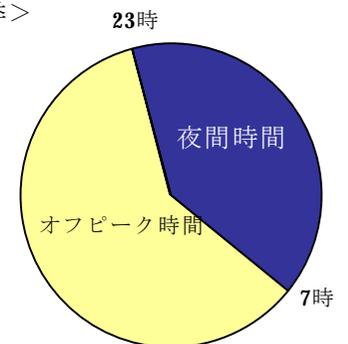
◆料金

基本料金	1 契約につき最初の10kVAまで		1, 155 円 00 銭
	上記を超える 1 kVAにつき		378 円 00 銭
電力量料金	ピーク時間		52 円 82 銭
	オフピーク時間	最初の90kWhまで	20 円 62 銭
		90kWh超過 230kWhまで	26 円 41 銭
		230kWh超過分	27 円 94 銭
	夜間時間		8 円 19 銭

<夏季・平日>



<夏季・平日以外>
<その他季>



◆時間帯区分

ピーク時間：夏季（毎年7月1日から9月30日までの期間）平日の13時から16時までの時間

オフピーク時間：毎日7時から23時までの時間（ピーク時間に該当する時間を除く）

夜間時間：毎日0時から7時までおよび23時から翌日0時までの時間

◆その他

季別電灯PSの実施に伴い、「口座振替割引契約」および「料金についての特別措置〔太陽光発電促進付加金〕」について、変更届出・認可申請を行いました。

今夏の自由分野における需給調整契約の取組み

参考3

 今夏新たに拡充 今冬までに設定していたメニュー

① 需給調整契約の拡充

	特高	高圧500kW以上	高圧500kW未満
随時調整契約	<瞬時調整特約>		
	<通告調整特約> (前日通告プラン) (前週通告プラン : 前週金曜日に翌週の該当日の負荷調整を通告)		
計画調整契約	<休日特約> (10日以上調整割引 : 10日以上 of 休日設定で割引拡大)		
	<操業調整特約>		
	<ピーク時間調整特約> (オプションプラン : 確実な負荷調整で割引拡大 (未達の場合はペナルティ)) (調整日選択プラン : 1日・1時間単位での加入が可能)		
需給調整			<デマンドカットプラン>

② ネガワット入札制度の実施

	特高	高圧500kW以上	高圧500kW未満
入札	(ネガワットプラン)		

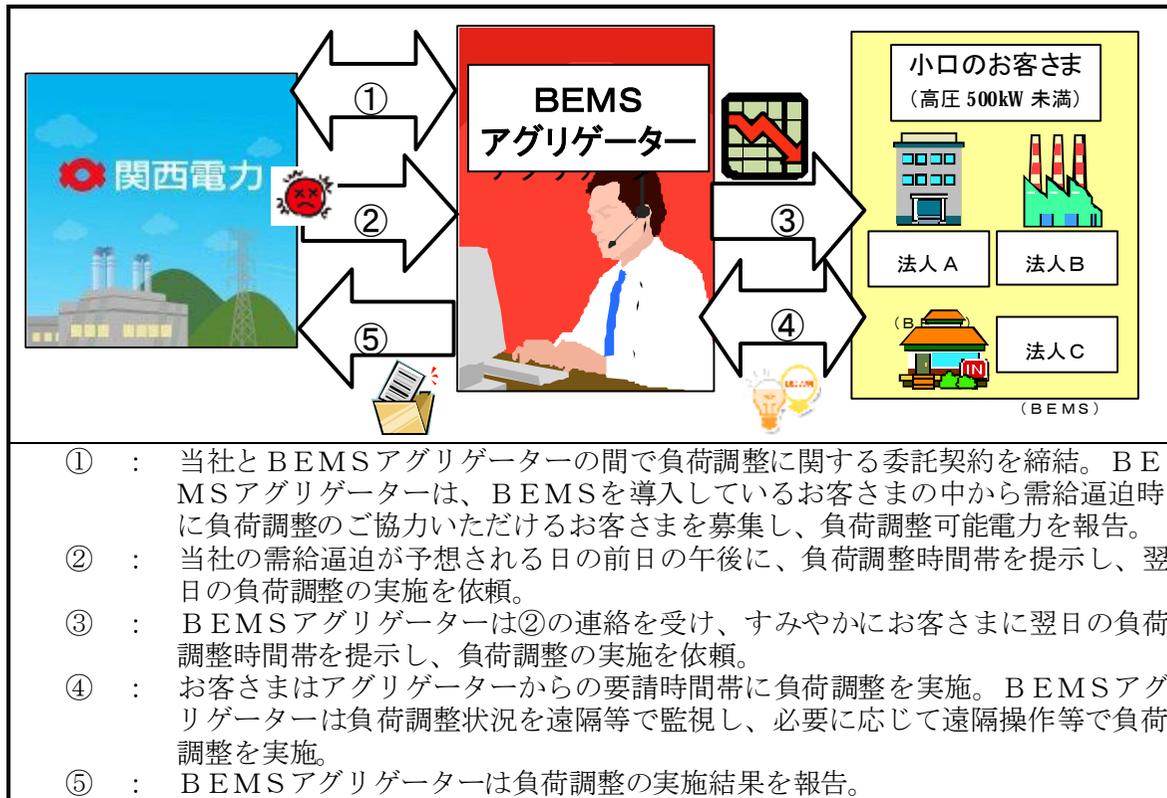
「BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制」の概要

参考4

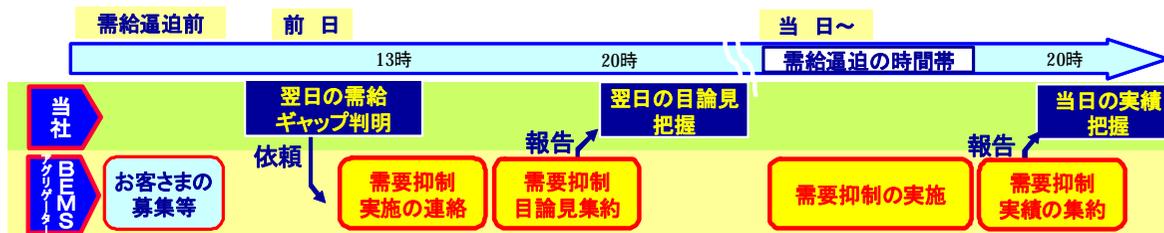
【概要】

内 容	当社の負荷調整要請に基づき、ビル、工場等の空調・照明設備等の負荷調整・制御を行うエネルギー管理システム(BEMS)を導入されたお客さまに対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施いただけるアグリゲーターを募集
アグリゲーターの募集方法および時期	募集の周知方法: 当社ホームページを通じて行う 時 期 : 平成24年5月28日～平成24年6月15日
実施期間	平成24年7月2日～平成24年9月7日
アグリゲーターへの主な委託内容	①節電要請期間までに、負荷調整にご協力いただけるお客さまの選定と負荷調整可能電力の報告 ②負荷調整時間帯において、BEMSを活用して①で選定したお客さまの負荷調整を実施 ③負荷調整の実施結果の報告
負荷調整の依頼タイミング	需給逼迫が予想される日の前日の午後
負荷調整時間帯	平日の午前9時～午後8時までの間で、当社が要請する時間帯 (※上記時間には、午後1時～午後4時を必ず含む)
負荷調整の対象となるお客さま	当社管内の高圧(契約電力500kW未満)のお客さま

【取組みのイメージ】



【負荷調整実施の流れ】



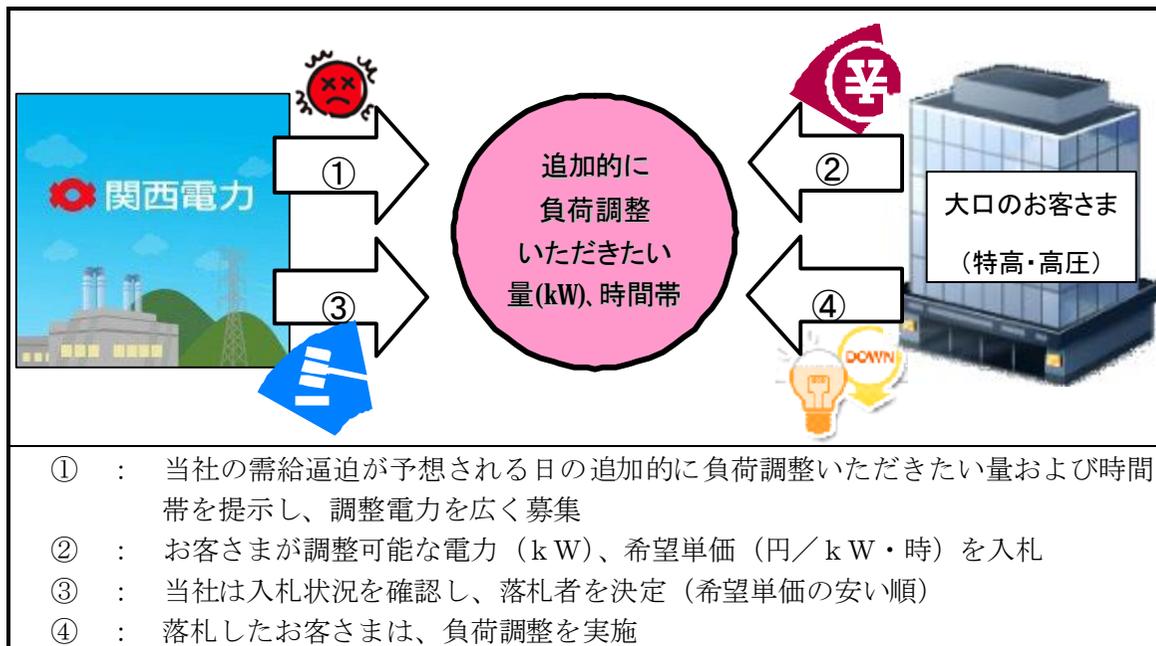
「ネガワットプラン」の概要

参考5

【概要】

適用期間	平成24年7月2日～平成24年9月7日
対 象	当社管内の特高・高圧(契約電力500kW以上)のお客さま
契約調整電力	特高:500kW以上、高圧:100kW以上
募集のタイミング	需給逼迫が予想される日の前週の金曜日から前日までの間で、追加的な負荷調整が必要と想定される日毎に入札を実施。
募集内容	募集調整電力および調整時間〔募集時点で公表〕
応札方法	お客さまから、事前登録のお申し込みをいただき、ID・パスワードを登録。 ID・パスワードを使い、当社ホームページから応札いただく。
実績調整電力の算定式	実績調整電力＝ 前週の同じ曜日の該当調整時間の平均電力 － 調整時間の平均電力
調整割引額	実績調整電力(kW) × 割引単価(円/kW) × 調整時間(h)
割引単価	お客さまが応札した希望単価
落札者の決定	割引単価が安価な順に、募集kWに達するまで落札者を決定
調整未達補償金	実績調整電力が契約調整電力の9割を下回った場合は、調整未達電力に対して調整未達補償金を設定

【取組みのイメージ】



【ネガワットプラン実施の流れ】※翌週の木曜日に需給逼迫が想定される場合のイメージ

カレンダー	金	土	日	月	火	水	木	金	～
でんき予報	週間 でんき予報	□ □	毎日更新 →			(翌日の) でんき予報	需給逼迫 予想日		
入札実施	○	○	○	○	○	○	-		

スケジュール	前週金曜日	土曜日以降	前日
実施概要	・翌週で追加的な負荷調整が必要と想定される日を対象に入札を実施。	・日々更新される該当日(木曜日)の需給状況に応じて、入札を実施。	・翌日に需給逼迫の発生が想定される場合、入札を実施。 ・需給状況が解消されない場合は、再度入札を実施。

